



植物目録

LIST OF PLANTS

2024



京都府立植物園

Kyoto Botanical Gardens

はじめに

本園は、京都府に植物園設置計画が始まって以来ほぼ 10 年後、さまざまな困難を乗り越え大正 13 年 1 月 1 日 (1924 年) に日本初の公立総合植物園として開園され、今年、100 周年を迎えました。開園当初の目的は「普通教育を基本とし、大自然に接して英気を養い園内遊覧のうちに草木の名称、用途、食用植物、熱帯植物、有毒植物、特用植物 (染料、工芸植物)、薬用植物及び、園芸植物等の知識と天然の摂理一般を普及させ、加えて我が国植物学界各分野の学術研究に資することを目的とする」というものでした。世界の植物園と比べたとき、16 世紀以降ヨーロッパ各国で、元は大学で医薬用植物の研究のために利用していた場所を植物園として次々に一般公開していったという歴史とは違います。1934 年には台風による大きな被害を受け、終戦後の 1946 年には、連合軍の住宅地として全面接収され、園内の多くの樹木や花壇などが消滅しています。返還まで 11 年、再開園にさらに 4 年を要しました。1961 年の再開園後の 63 年間、さまざまな植物の収集保全に努め、多くの府民の皆さまにご覧いただけてきました。

次の 100 年に向けて、本園は、従来の使命に加え、植物多様性の保全に取り組むことにしました。生息域外保全という表現があります。主には植物園などの大きな飼育・栽培空間を持つ組織や機関が、絶滅の危機に瀕している動植物を、生息域外で保護することを指します。現在当園で栽培展示している種の多くが生息域外保全されていることになります。最近の調査によって、世界の植物園 (2500) が全植物種の 30% に相当する少なくとも 105,634 種を管理し、既知の絶滅危惧種の 41% 以上を保全していることが明らかになっています。ただし、保全している種の 93% が北半球からの種であり、生息域が偏っていることも指摘されています。

先の植物目録作成から 20 年経ちました。今回の植物目録の改訂版が、これからの植物の多様性保全の目的のためにさまざまなかたちで役立つことを願ってやみません。

令和 6 年 10 月

京都府立植物園

園長 戸部 博

目 次

植物園概要

凡 例

羊齒植物	Pteridophytes	1
種子植物	Spermatophyta	6
裸子植物	Gymnospermae	6
被子植物	Angiospermae	10
基部被子植物	Basal angiosperms	10
单子葉植物	Monocots	18
真正双子葉植物	Eudicots	77
園芸植物	Cultivar	174
索 引		228
原種		228
園芸品種		256

植物園概要

北に北山連山を、東に比叡山をはじめとする東山連峰、そして西には賀茂川の清流。
当植物園は、この景勝の地、洛北の平坦地に位置します。総面積は 240,000 m²。日本最
古の公立総合植物園です。

●概要

【主な施設】

植物園会館… 1 階：展示室、休憩所、売店、救護室、授乳室、事務室

2 階：研修室、園芸サロン、資料室、多目的室

観覧温室… 回遊式の 7 展示室（ジャングル室、有用作物室、冷房室、砂漠サバン
ナ室、昼夜逆転室、高山植物室、ラン・アナナス室）と特別展示室

パーゴラ… 2 か所

休憩所… 2 か所：植物園会館 1 階、森のカフェ

東屋… 6 か所

トイレ（多機能用含む）… 8 か所

駐車場（正門）… 乗用車約 150 台収容、バス約 7 台収容

未来くん広場… きのこ文庫（平安の郷こども文庫きのこの家）、児童遊具

北山カフェ

〈バックヤード〉

栽培温室… 6 棟、絶滅危惧植物保全温室… 1 棟、倉庫・作業所等… 10 棟

【位置】京都市左京区下鴨半木町

北緯 35° 01′ 東経 135° 44′ 標高 74.31m

【開園】大正 13（1924）年 1 月 1 日

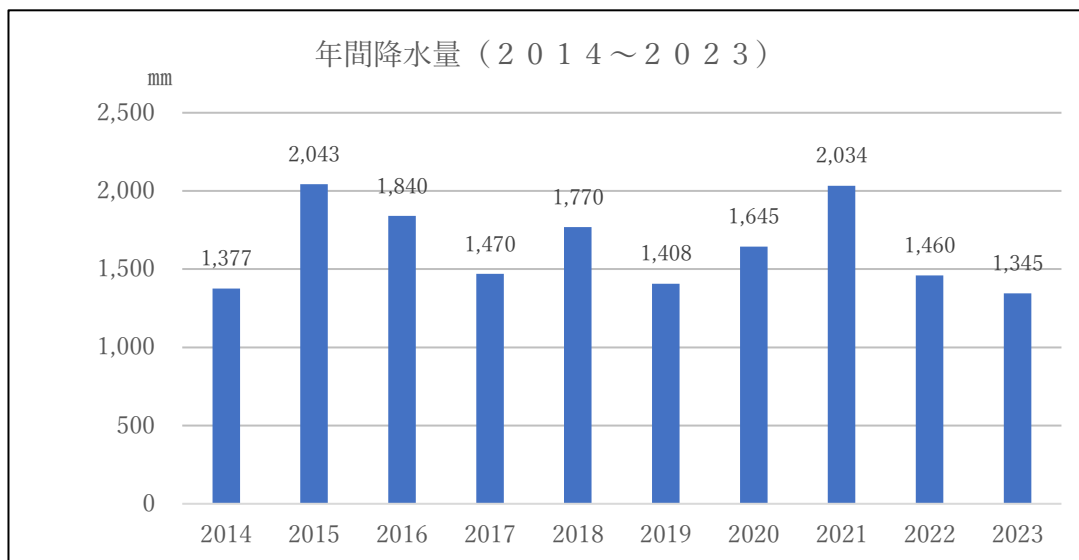
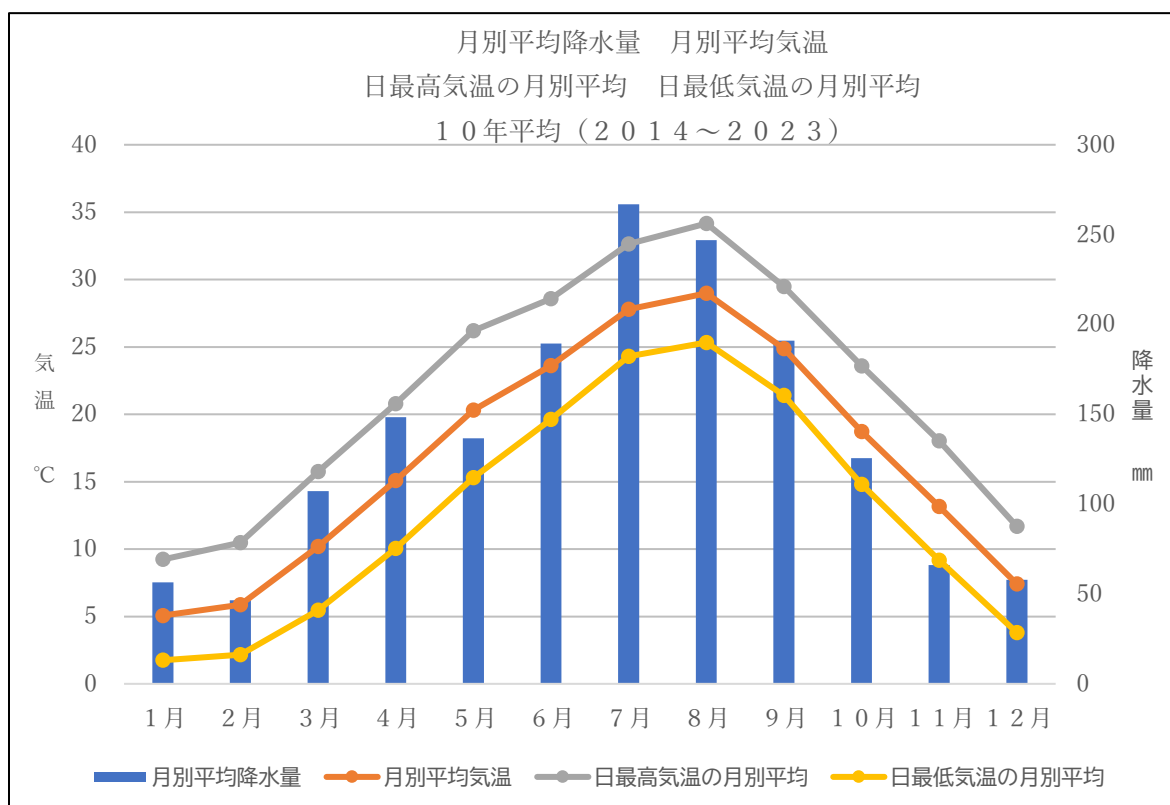
昭和 21 年 10 月 1 日より 15 年間休園

昭和 36 年 4 月 25 日再開園

【総面積】約 240,000 m²

【保有植物】約 10,000 種類

気象状況 (京都地方気象台調べ)



(2014~2023)

気温 °C			降水 mm	
平均気温 10年平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)	年間降水量 10年平均 (mm)	最大日 降水量 (mm)
16.8	39.8 2018/7	-4.1 2016/1	1,639	183.5 2015/7/17

凡 例

○本植物園においては、約 10,000 種の植物を保有しているが、本目録に記載する植物は、未同定のものなど調査不十分なものについては割愛し、可能な限り精度を高めた。

○本書の植物配列は、羊歯植物、裸子植物、基部被子植物、単子葉植物、真正双子葉植物の順に 5 大別し、それぞれの中で、科、属、種名のアルファベット順に配列した。

○各種の記載は、学名、和名のみとした。

○学名は、主として次の文献によるものを採用し、見解の分かれるものはよく使われるものを採用した。

The World Flora Online

植物和名－学名インデックス YList

園芸植物大辞典 塚本洋太郎他 1994 小学館

○園芸植物は別項にまとめ、科名、属名、品種名をアルファベット順、五十音順、JIS 漢字コード順に配列した。

○巻末には、記載植物の学名索引をアルファベット順、和名索引を五十音順に記載した。